



J.Fukuda

サマー2000シリーズ

THE HAKODATE KINEN

第60回 農林水産省賞典 函館記念 (GⅢ)

1 着 2 着 3 着 4 着 5 着
本 賞 43,000,000円 17,000,000円 11,000,000円 6,500,000円 4,300,000円
付加賞 560,000円 160,000円 80,000円



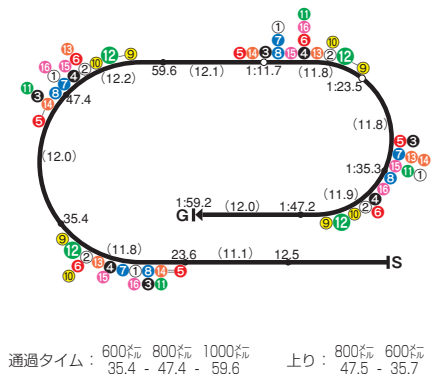
レース映像は
コチラでご覧
いただけます。

3歳以上、2023.7.15以降2024.7.7まで1回以上出走馬、除未出走馬および未勝利馬
負担重量 ハンデキャップ

2024.7.14 函館 晴・良 芝2000m (国際) (特招)

順	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	タイム (管差)	コーナー 通過順位	上り (600m)	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーティング
1	⑫	ホウオウビスケッツ	牡 4	57.5	岩田康誠	1:59.2	2-2-2-2	35.3	506(-4)	7.2③	奥村 武(美浦)	114
2	④	グランディア	騾 5	56	三浦皇成	3½	7-7-6-5	35.3	476(-6)	8.3④	中内田充正(栗東)	104
3	⑤	アウスヴァール	騾 6	54	古川吉洋	¾	1-1-1-1	36.4	494(+10)	58.3⑫	昆 貢(栗東)	99
4	①	サヴォーナ	牡 4	57.5	池添謙一	ハナ	10-9-11-9	35.2	530(-2)	4.5①	中竹和也(栗東)	106
5	⑧	ブラチナトレジャー	牡 6	55	永野猛蔵	¾	12-12-11-8	35.3	480(-6)	60.9⑩	国枝 栄(美浦)	
6	⑬	チャックナイト	騾 6	58.5	佐々木大輔	ハナ	7-7-10-9	35.5	476(-6)	11.5⑥	堀 宣行(美浦)	
7	⑥	サンストロクトン	牡 5	55	藤岡佑介	1¼	16-16-16-15	35.0	470(-2)	16.0⑨	鹿戸雄一(美浦)	
8	⑦	リカンカブール	牡 5	58	津村明秀	クビ	3-4-6-5	35.8	490(-8)	20.7⑪	田中克典(栗東)	
9	⑨	マイネルクリソール	牡 5	56	丹内祐次	ハナ	10-9-6-7	35.8	456(-4)	19.3⑫	手塚貴久(美浦)	
10	⑩	トップナイフ	牡 4	57.5	横山和生	¾	3-3-3-3	36.2	480(-2)	6.3②	昆 貢(栗東)	
11	⑪	アケルナルスター	牡 5	56	黛 弘人	¾	14-13-6-9	36.1	472(±0)	30.1⑨	清水英克(美浦)	
12	⑫	ハヤヤッコ	牡 8	58.5	浜中 俊	ハナ	14-13-15-12	35.5	484(+2)	28.9⑫	国枝 栄(美浦)	
13	②	オニャンコポン	牡 5	57	菱田裕二	¾	3-4-3-4	36.4	486(-2)	13.2⑧	小島茂之(美浦)	
14	⑦	エミュー	牝 4	54	鮫島克駿	アタマ	9-9-11-12	35.9	434(+4)	126.0⑮	和田正一郎(美浦)	
15	③	エンパイアウエスト	牝 5	53	横山武史	½	12-13-14-15	35.9	500(-8)	13.0⑦	黒岩陽一(美浦)	
16	⑬	デビットバローズ	牡 5	56	武 豊	大差	6-4-5-12	38.5	522(+4)	9.6⑤	上村洋行(栗東)	

単勝④⑦⑫20円(3%) 複勝④300円(3%) ④300円(4%) ⑨1,390円(15%) 枠連②⑥1,750円(10%)
馬連④⑦⑫4,310円(15%) ワイド④⑦⑫1,850円(17%) ⑨⑫9,170円(88%) ④⑦⑫6,440円(77%)
馬単④⑦⑫8,040円(28%) 3連複④⑦⑫122,110円(333%) 3連単②④⑦⑫579,230円(1,780%)
5重勝①⑦⑤③⑫31,102,690円(14票) 対象競走: 福島10R/函館10R/小倉11R/福島11R/函館11R



通過タイム: 600m 800m 1000m 上り: 800m 600m
35.4 - 47.4 - 59.6 47.5 - 35.7

アラカルト

- ・岩田康誠騎手はダービーフィズで制した15年に続く函館記念2勝目。JRA重賞は本年2勝目、通算111勝目
- ・奥村武調教師は函館記念初勝利。JRA重賞は本年初勝利、通算6勝目
- ・マインドユアビスケッツ産駒はJRA重賞初勝利
- ・4歳馬の勝利は23年ローシャムパークに続く通算22回目
- ・非抽選馬 4頭(カネフラ、キャプテンシー、グリューネグリン、ショウナンバシット)

ホウオウビスケッツ *Ho O Biscuits*

牡 鹿毛 2020.6.5生
北海道新ひだか町 岡田スタッド生産
馬主・小笹芳史氏 美浦・奥村武蔵舎
馬名意味・冠名+父名の一部

マンファスIRE系 F22-d

マインドユアビスケッツUSA Mind Your Biscuits 栗毛 2013	Posse 鹿毛 2000	Silver Deputy
		Raska
ホウオウサブリナ 青鹿毛 2015	Jazzmane 栗毛 2006	Toccet
		Alljazz
	ルーラーシップ 鹿毛 2007	キングカメハメハ
		エアグルーヴ
	トラヴェシーア 青鹿毛 2009	ディーブインパクト
		マンファスIRE

5代までのインブリード：マンファスIRE M3×M4 Deputy Minister S4×S5
Mr.Prospector S5×M5

INTERVIEW

岡田牧雄代表(岡田スタッド)

素晴らしい成長を見せてくれました

この馬の兄もそうでしたが、生まれた頃は正直、ここまでの活躍は期待していませんでした。しかし、その後の成長が驚くほど素晴らしく、別の馬になったかと思うほど。2歳3月の時点でオーナーに「重賞を勝てる馬」と言った記憶があります。とても賢くて手がかからず、のびるもまだ十分あると思います。秋の大目標は天皇賞ですが、今から楽しみにしています。

S.Suzuki



マインドユアビスケッツの初年度産駒にあたる本馬は昨年の春、デビュー2連勝を飾って挑んだスプリングSでベラジオオペラの2着に食い下がり、皐月賞(17着)、ダービー(6着)にも駒を進めた。その後、夏負けにかかって復帰は暮れの中日新聞杯(12着)までずれ込んだものの、4歳を迎えて東京新聞杯3着、続く東風Sも3着と復調を示し、函館に渡って「19年ぶり」の連勝を達成した。すっかり上昇気流に乗った4歳馬はこの秋、頂点の舞台を賑わす存在となりそうだ。

軽い気負いも見られた馬と呼吸を合わせ、離れた2番手に腰を落ち着ける。タイトルを手中に収めた。軽ハンのアウスヴァールが意欲的に先手を主張すると、ホウオウビスケッツの岩田康誠騎手は待機策を選択。少し気負いも見られた馬と呼吸を合わせ、離れた2番手に腰を落ち着ける。

父マインドユアビスケッツUSA

北米、首25戦8勝(ドバイゴールデンシャヒーン・首^{G1}2回、マリブS・米^{G1}、アムステルダムS・米^{G2}、ベルモントスプリント選手権S・米^{G2}、ルーカスクラシックS・米^{G3}、BCスプリント・米^{G1}2着)、19年から日本で供用〔代表産駒〕**デルマントガケ**(全日本2歳優駿^I、UAEダービー・首^{G2}、BCクラシック・米^{G1}2着)、**ホウオウビスケッツ**(本馬)、**マルカラビッド**(エーデルワイス賞^I、III)、**ショーモン**(デイリー杯2歳S^{GII}3着、アーリントンC^{GIII}3着)、**フルメタルボディー**(ジュニアC・L3着)、**クイーンオブソウル**(アネモネS・L3着)、**ノブノビスケッツ**(MRO金賞、北日本新聞杯、兼六園ジュニアC)

母ホウオウサブリナ

北海道安平町 ノーザンファーム生産 不出走

ホウオウユニコーン(19 牡父ゴールドシップ)中央21戦2勝 ⑧

ホウオウビスケッツ 本馬(20 牡父マインドユアビスケッツUSA)中央10戦4勝(函館記念^{GII}、巴賞^{OP}、フリージア賞、スプリングS^{GII}2着、東京新聞杯^{GIII}3着、東風S・L3着) 獲得総賞金125,070,000円

(21 牡父エビファネイア)

(24 牡父キタサンブラック)

※22(不受胎)、23(流産)

祖母トラヴェシーア

北海道安平町 ノーザンファーム生産 不出走。15年輸出(豪)

アドマイヤフォルム(13 牡父クロフネUSA)中央0勝、障害2勝

ホウオウサブリナ(15 前出)

セーフパッセージ Safe Passage(17 牡父Snitzel)豪、新3勝

ジェットフォイル Jetfoil(18 驕父Snitzel)豪2勝

曾祖母マンファスIRE

英0勝。00年輸入、12年用途変更

ザデビュティ The Deputy(97 牡父Petardia)北米、英4勝(サタアニタダービー・米^{G1}、サタカタリーナS・米^{G2}、ヒルライズH・米)、種牡馬

キングカメハメハ(01 牡父Kingmambo)中央7勝(日本ダービー^{G1}、NHKマイルC^{G1}、神戸新聞杯^{GII}、毎日杯^{GIII}、すみれS^{OP}、エリカ賞、京成杯^{GIII}3着)、最優秀3歳牝馬、日本リーディングサイヤー

レースパイロット(02 牡父サンデーサイレンスUSA)中央2勝(ミモザ賞、フローラS^{GII}2着、エルフィンS^{OP}3着)

オフリミッツ(05 牡父ジャンглポケット)中央1勝、地方2勝

トラヴェシーア(09 前出)

19年ぶりの「巴賞と函館記念の連勝」

レース史上初めて本州デビュー馬に凱歌があがった前日の函館2歳Sに対し、函館開催を締めくくる伝統のハンデ重賞は19年ぶりの快挙に沸いた。長年にわたって函館記念の前哨戦と位置付けられてきたオープン特別を逃げ切り、弾みをつけて臨んだ4歳馬ホウオウビスケッツがこも完勝。2005年のエリモハリアー以来となる「巴賞と函館記念の連勝」を成し遂げ、初のタイトルを手中に収めた。

軽ハンのアウスヴァールが意欲的に先手を主張すると、ホウオウビスケッツの岩田康誠騎手は待機策を選択。少し気負いも見られた馬と呼吸を合わせ、離れた2番手に腰を落ち着ける。タイトルを手中に収めた。軽ハンのアウスヴァールが意欲的に先手を主張すると、ホウオウビスケッツの岩田康誠騎手は待機策を選択。少し気負いも見られた馬と呼吸を合わせ、離れた2番手に腰を落ち着ける。